

質 疑 要 旨

小松 実議員 No. 1

質 疑 要 旨	要 答 弁 者
1 災害時の水の確保について (1) 指定避難所だけでなく福祉施設等にも水を届ける仕組みが不可欠だが、能登半島地震の際には、どのように対応したのか。 (2) W O T A（株）との協定を踏まえた熊本地震の被災地への支援状況を聞く。 (3) 平時から市町や民間事業者と連携し、断水時を想定した訓練を行う必要があると考えるが、所見を聞く。 (4) 災害用井戸について ア 県内の登録状況を聞く。 イ 災害時に活用するため、井戸の場所や飲用・生活用などの目的を住民に周知しておくことが重要と考えるが、所見を聞く。 (5) 「従来型の水道」と「分散型システム」を組み合わせた災害に強く持続可能な水インフラの構築を創造的復興のモデルとして市町と検討すべきと考えるが、所見を聞く。	知 事 危機管理部長 生活環境部長
2 小松空港の国内線の維持・強化と国際化の推進について (1) 今般の羽田便の減便について、需要動向の分析と、今後の路線維持に向けた受け止めを聞く。また、更なる減便の防止に向け、航空会社とどのような協議を行っているのか。 (2) J A L ・ A N A 両社に対し、発着時間を含めた「共同ダイヤ」の実現を働きかけ、航空と新幹線の共存による利用者の選択肢拡大を図るべきと考えるが、所見を聞く。 (3) ベトナムを本県の重要な交流パートナーと位置付け、小松空港を交流の玄関口として戦略的に活用すべきと考えるが、所見を聞く。 (4) 知事自らベトナムを訪問し、小松空港との定期路線化に向けたトップセールスを行う考えはないか、決意を聞く。	知 事 企画振興部長
3 ナショナルサイクルルートの指定について (1) 今回の指定を好機と捉え、本県の観光誘客の柱としてどのように戦略的に取り組んでいくのか。	知 事 文化観光スポーツ部長

この質疑要旨は、9月14日午後6時25分に取りまとめたものです。

質 疑 要 旨

小松 実議員 No.2

質 疑 要 旨	要 答 弁 者
(2) 地元関係者の声などを聞きながら、指定の効果を検証し、地域経済の活性化につながるよう施策を充実させることが重要であると考え、所見を聞く。 (3) ナショナルサイクルルートというブランドを最大限活用できるよう、各部局を横断して企画・調整を行う専門組織を設置し、責任と権限を明確にした推進体制を構築すべきと考えるがどうか。 (4) 単なる観光ルートではなく、能登復興のツールとして位置付け、能登各地への周遊・宿泊・消費に繋げる「能登版サイクルツーリズム」を重点的に展開してはどうか。	
4 辰口丘陵公園といしかわ動物園を核としたこども・家族の交流エリアの形成について (1) 辰口丘陵公園について、いしかわ動物園や周辺の観光・交流資源まで含めた「子ども・家族の交流エリア」として将来像を描くべきと考えるが、所見を聞く。 (2) 回遊、イベント、情報発信、民間サービスの導入、将来の運営まで含めたエリア全体のグランドデザインを描くべきと考えるが、所見を聞く。 (3) 県と能美市、県民ふれあい公社を中心に、民間事業者や地域団体なども参画する検討の場を設け、エリア全体の将来像や整備、誘客、回遊、運営を一体的に検討すべきではないか。	知 事 文化観光スポーツ部長 県民ふれあい公社理事長
5 加齢性難聴者への支援について (1) 中等度以上の難聴があり医師が必要と認める高齢者等を対象とした、市町による補聴器購入助成への財政支援の具体的な検討に着手する考えはないか。 (2) 医師会等と連携し、加齢性難聴者が安心して補聴器を使い続けることができる仕組みを構築し、県内に普及させていく考えはないか。	知 事 健康福祉部長

この質疑要旨は、9月14日午後6時25分に取りまとめたものです。